

【質問 1】

資料：募集要項 10 審査基準 (3) 事業効果について

本事業は女性の就労支援を目的としていると理解しているため、受講者の就労数も重要な指標と理解しております。そこで、R7 事業より事業効果の高い実施形態であることが記載求められておりますが、R7 参加者人数に対して就業した人数は何名になりますか？よろしく申し上げます。

【回答 1】

御質問ありがとうございます。

令和 7 年度セミナー受講後 3 か月時点のアンケート調査では、総参加者 141 人のうち 76 人から回答があり、そのうち 35 人 (46.1%) が就労しています。

(内定者等の就労見込者も含む)

なお、本数値はあくまで目安と捉えていただき、各社様が考える、より事業効果の高い実施形態を御提案いただきたいと考えております。その際、どういう点で効果が得られるのか (セミナー内容、セミナー時間・定員、過去の実績例等) を具体的にお示しいただきたいと考えております。

【質問 2】

資料：仕様書 4(6)②

「1 講座からでも受講できるようにすること」と記載がありますが、受講者は受けたい講座を選択でき、希望した講座のみ受講していただくようなイメージでしょうか。どのような例を想定しているのかご教示お願いいたします。

【回答 2】

御質問ありがとうございます。

受講者は受けたい講座を受講できる（1 講座でも複数講座でも可）という形式を想定しています。

【質問 3】

資料：仕様書 4(7)

チラシを作成した場合、県の関連機関（ハローワーク等）での配布や掲示にもご協力いただけるのでしょうか。またその場合、どのような機関を想定すればよいかご教示ください。

【回答 3】

御質問ありがとうございます。

昨年度と同様に、県内のハローワーク 20 箇所や県の関連施設、市町村等への配布・掲示を想定しています。昨年度もご協力いただいているので、今年度も配布・掲示にご協力いただける予定です。

【質問 4】

資料：仕様書 4(7)

チラシの作成費・印刷費は委託費に含まれる想定とのことですが、想定される配布部数や配布範囲（県内全域を想定した数百部単位か、限定的な範囲かなど）の目安があればご教示いただけますでしょうか。

【回答 4】

御質問ありがとうございます。

昨年度は、2,055 部のチラシを作成し、ハローワークを含む県の関連施設、県内子育て支援拠点、市町村等、県内 194 箇所へ配布しました。

なお、今年度の配布部数・配布範囲は、最終的に県と協議の上、決定いたします。